

○令和4年度 北海道「体験の風をおこそう」運動推進事業

「 たびうさぎ〜スノーパーク編〜 」(R5.1.14 (土)・15 (日))

令和4年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

## たびうさぎファミリー 〜スノーパーク編〜

大雪青少年交流の家に来て親子で思いっきり外遊びしませんか？

親子で好きなプログラムを選んで体験ができます！

- クロスカンリースキー
- ソリ・チューブすべり
- せつぞうづくり・ゆきあそび
- スノーシューハイク

2023年1月14日(土)・15日(日)  
両日日帰り 9:00~15:30

対象：3歳〜小学3年生までの子どもがいる親子  
※親子対象事業のため子どもだけの参加はできません。  
参加費：一人200円(保険料等)

独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
国立大雪青少年交流の家  
体験の風をおこそう

主催 国立大雪青少年交流の家  
企画・運営 北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会  
協力 一般社団法人 丘の歩きやすい遊具化協会

◆目的

冬の遊びを通して家族が外遊びの楽しさと意義を体感するとともに、家族の交流の機会とします。

◆参加実績 (定員 20 家族 60 名程度)

14日 9 家族 32 名

15日 9 家族 30 名

◆プログラム

各日とも4つのプログラムを用意し、午前2時間、午後2時間と家族でプログラムを選択して体験した。冬季の新規プログラム開発の一つとして、昼休憩の時間に雪板の体験会を行った。

①クロスカンリースキー

・はじめにグラウンドで歩き方や走り方の練習を行い、その後森の中に入って自然の中を歩いてまわった。

②ソリ・チューブすべり

・法人ボランティアが中心となり、親子でソリ・チューブすべりができる場所を提供し、自由に楽しんでもらった。

③スノーシューハイク

・丘のまちびえい活性化協会の小倉氏を講師としてお招きし、施設周辺のコースを自然散策しながら歩いた。

④雪像づくり・雪遊び

・ボランティアが中心となり、親子で雪像づくりや雪遊びができる場所を提供し、自由に体験してもらった。

⑤雪板体験

・美瑛町在住の大西氏を講師としてお招きし、雪板の体験会を行った。雪板の面白さや難しさを体験した。



#### ◆事業運営・企画のポイント

- ・北海道内の子どもの課題である体力の低下、冬季期間の運動機会の減少など地域の課題を解決するための一助となるように、子どもたちが存分に屋外で楽しんで遊ぶことができるプログラムを企画した。
- ・幼少期の野外活動の推進や家庭教育支援の取組として家族団らんの時間を提供するなど、本道の子どもの課題も踏まえ、家族で思いっきり外遊びができるようにした。
- ・美瑛町内から講師をお招きし、地域との連携を図った。
- ・年間のたびうさぎ事業を通して、宿泊を希望する家族が多数いたため、施設の特性を活かし、希望する家族は宿泊ができるようにした。また、宿泊ができるようにすることで2日間事業に参加しやすい環境を作った。
- ・大雪スノーパーク（仮称）として多くの子どもたちにプログラムを提供できるように次年度以降を見据えて事業を行った。

#### ◆参加者の声

- ・寒くないと思えるくらい楽しめた。
- ・丸1日目一杯遊べて大満足だった。
- ・子どもの成長を感じることができた。
- ・1つの遊びを2時間ゆっくり取り組めたので満足できた。
- ・子どもが夢中になる姿を見ることができた。
- ・両親ともに働いており、なかなか子どもとゆっくり遊ぶことができない中、今回は子どもと外でゆっくり、たくさんあそぶことができた。
- ・いつもとは違う体験ができてよかった。こんな活動をたくさんしてほしい。

#### ◆事業の成果

- ①冬の活動を通して、冬に屋外で遊ぶことの楽しさを体感してもらうことができた。また、冬季期間の運動機会の場を提供することができた。
- ②参加した子どもたちが楽しみながら、自ら進んで活動に取り組む様子があり、子どもが成長できる場となった。